

総合的な学習の時間学習指導案

令和4年10月21日（金）5校時
 第3学年1組 児童数 3年1組 31名
 にここ学級 1名
 授業者 大西 幸子

単元名 西のチカラプロジェクト「たんけん！発見！海田町の“いいね！”を伝えよう」

1 単元目標

海田町のよさを伝える方々と関わりながら地域を散策し、自分達が見付けた“いいね”をポスターやスライドに表して伝えるという活動を通して、地域の公共施設や歴史、自然環境など、それぞれのよさに気付くとともに、親しみや誇りをもち、これからの自分自身と地域の繋がりについて考えることができるようにする。

2 単元設定の理由

<p>(1) 児童の実態</p> <p>本学級の児童は、今までに校区内探検を行い、校区の魅力に着目して学習を進めてきた。校区の中でも知らないところがたくさんあることや、見慣れている場所や物でも改めて考えるとそれぞれのよさがたくさんあることに気付き、校区への興味関心や愛着が少しずつ高まってきている。さらに、児童の興味関心は、身近な環境から校区外の様子へ広がり、「海田町の様子をもっと知りたい」という思いをもっている。</p> <p>一方、日々の生活の中で、町内の公共施設や歴史、自然等のよさを感じ取るような体験をしている児童は少なく、それらへの馴染みも薄い。また、協働的な活動の際、共通点や相違点に着目したり、友達の意見を踏まえた上で発言したりできる児童は少なく、異なる意見を整理し、まとめる力が十分ではない。</p>	<p>(2) 教材について</p> <p>本校近辺には、日浦山、旧千葉家住宅、織田幹雄スクエア、ひまわり大橋等、海田町の名所が点在している。本単元では、「地域共生社会、郷土愛」を学習テーマに、自分の地域に親しみや誇りをもち、さらに、その気持ちを持続するために、自分たちにできることを考えさせることをねらいとしている。そのために、シルバー人材センターの方やガイドボランティアの方との交流や名所散策等を行い、海田町の様々なよさに気付かせる。さらに、海田町役場魅力づくり推進課とコラボレートし、海田町の“いいね！”をポスターに表して伝えたり、スライドを作成して町内公共施設内に設置されているデジタルサイネージで伝えたりすることで、実生活につながる活動にしていく。</p> <p>「海田町の魅力って何だろう？～私たちはどのように地域とかかわるとよいのだろうか？～」を本質的な問いとして、自分自身と地域のつながりについて深い学びを実現できるものと考え、本単元を設定した。</p>
<p>(3) 指導について</p> <p>本中学校区で育成したい資質・能力は、次の3点である。これらを育むために、本単元では、次のような手立てを行う。</p>	
資質・能力	手立て
主体性	<ul style="list-style-type: none"> 地域の公共施設や歴史、自然等に興味や関心をもたせるために、「海田町名所せんべい」に込められた思いについて、シルバープラザの所長さんの話を聞く場を設定する。 「海田町の“いいね！”を伝える」という意欲を高めるために、海田町役場魅力づくり推進課の方から海田町の魅力発信への思いを聞く場を設定する。 学習意欲を持続させ、自分自身と関連付けて探究活動に取り組むために、この学習に取り組むことで何がどのように変わるかを考える場を設定する。
コミュニケーション力	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えをもって話し合いができるように、書く活動を取り入れたり、ワークシートや思考ツールを使って整理したりしながら意見を交流させる。 シルバープラザの所長さんや海田市ガイドの会、海田町役場魅力づくり推進課の方との関わりをもつ場を設定し、学習を深めさせる。 司会等の役割や話し合う視点を確認し、共通点や相違点を意識しながらまとめさせる。
メタ認知	<ul style="list-style-type: none"> 探究活動の際に関わった方々による他者評価、学習の記録、ポートフォリオのフィードバックを通して、自己の変容に気付かせる。 本単元と社会科の学習を関連付けて、地域に対する視野の広がりにつなげる。

3 単元の評価規準とルーブリック

(1) 単元の評価規準

評価の観点		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①海田町の公共施設や歴史、自然環境などの様子や特徴を理解している。 ②目的や対象に応じて、相手に分かりやすく発信する力を身に付けている。 ③海田町の魅力についての自己の思いの変容は、地域のよさや人々の思いについて 探究的に学んだ成果であることに気付いている。	④関心をもとに課題を作り、解決の見通しをもち、発信するための計画を立てている。 ⑤課題の解決に必要な情報を、手段を選択して多様に収集し、目的に合わせて蓄積している。 ⑥集めた情報を比較し、共通点や相違点に着目しながら、観点に合わせて情報を整理し考えている。 ⑦相手や目的に応じて、分かりやすく表現している。	⑧課題解決の中で、自分の考えと異なる意見や考えがあることに気付いたり、学習内容の振り返りの中で、自己の変容に気付いたりしている。 ⑨学習課題に興味や関心をもち、自分と違う友達の考えを生かしながら、協働して問題解決に取り組もうとしている。 ⑩地域との関わりの中で自分のできることを見つけようとしている。

(2) 探究のサイクル③におけるルーブリック



知識・技能および資質・能力		B 目標を概ね達成した状態	A 目標を大きく達成した状態
主体性	⑨	海田町の“いいね!”を発信することに興味や関心をもち、探究的に課題を見付け、友達と協働して問題解決に取り組もうとしている。	海田町の“いいね!”を発信することに興味や関心をもち、探究的に課題を見付け、自分と違う友達の考えを生かしながら、協働して問題解決に取り組もうとしている。
コミュニケーション力	⑥	集めた情報を比較し、共通点や相違点に着目しながら、各名所の特徴を整理し、発信したい海田町の“いいね!”を伝え合っている。	集めた情報を比較し、共通点や相違点に着目しながら、各名所の特徴を整理し、相手の意見に付け加えたり、みんなの意見をまとめたりして、発信したい海田町の“いいね!”を伝え合っている。
メタ認知	③	海田町への思いの深まりは、探究的に学んだ成果であることに気付いている。	海田町への思いの深まりは、探究的に学んだ成果であることに気付くとともに、新たな課題を見つけている。

4 指導と評価の計画（探究のサイクル③全11時間）

探究の サイクル③ (時数)	ねらい・学習活動	知	思	態	指導のポイント等
導入 「知る」 (1)	○海田町役場魅力づくり推進課の方から話を伺い、海田町の魅力発信についての思いを知り、海田町の“いいね！”を西小から発信していく意欲をもつ。	①		⑨	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞記事と関わらせ、海田町役場魅力づくり推進課の方の話を聞くことに必然性や関心をもたせる。 ・海田町役場魅力づくり推進課の方の話を聞くことで、自分たちが見つけた海田町の“いいね！”を校内以外にも広く発信したいという意欲をもたせる。
課題設定 「観る」 (1)	○「海田町のよさをたくさんの人に伝えるには、どうすればよいのだろう。」という課題をもち、学習計画をたてる。 ○自分達のプロジェクトの方法と価値について考え、ルーブリックを確かめる。		④		<ul style="list-style-type: none"> ・海田町役場魅力づくり推進課の方の話をもとに、これからどのような学習をしていきたいか思いを出させ、整理する。 ・シルバー人材センターの方や海田町役場魅力づくり推進課の方の言葉を想起させ、「海田町のよさを伝えることで、どのようなになるのか」を問うことで、プロジェクトの価値について考えさせる。
情報の収集 「探る」 (1)	○発信の目的や相手を意識して、何を、どんな方法で伝えるかを話し合う。		⑤		<ul style="list-style-type: none"> ・前時に考えたプロジェクトの価値について想起させ、誰に、何のために海田町の“いいね！”を伝えるのかを意識付ける。 ・何をどのような方法で伝えるとより効果的かを考えさせる。
整理・分析 「探る」 (1) 本時	○ポスターやスライドに書き表す、各名所の“いいね！”ポイントベスト3とキャッチコピーを決める。		⑥		<ul style="list-style-type: none"> ・前プロジェクトでまとめた、各名所の特徴表を活用することで、“いいね！”の視点（「美しさ」「便利さ」「人々の努力」「歴史」）を意識しながら選べるようにする。 ・3つの“いいね！”ポイントの共通点を考えさせることで、キャッチコピーにつながられるようにする。
整理・分析 「探る」 (1)	○ポスターやスライドに使う写真を決める。		⑥		<ul style="list-style-type: none"> ・発信の目的、発信内容、キャッチコピーを意識して、写真を選択させる。
まとめ・表現 「創る」 (5)	○海田町の“いいね！”が伝わるようなポスター、スライドを作成する。 ○自分達のこれまでの取り組みや海田町の“いいね！”をNIE発表会で全校児童や家族に発信する。	②	⑦		<ul style="list-style-type: none"> ・前時までで決めた内容を軸に、ポスター係とスライド係に分かれて作成させる。 ・海田町役場魅力づくり推進課の方から評価をもらい、他者視点に立ったポスターやスライドになるよう、修正させる。
振り返り 「省みる」 新たな課題の発見 「知る」 (1)	○自分達の活動を振り返るとともに、海田町への思いについてまとめる。	③		⑧ ⑩	<ul style="list-style-type: none"> ・探究活動の際に関わった方々による他者評価、学習の記録、ポートフォリオのフィードバックを通して、自己の変容に気付かせる。 ・本単元と社会科の学習を関連付けて、地域に対する視野の広がり気付かせる。

5 本時の展開

本時の目標 ポスターやスライドで伝える、海田町の名所の特徴とその見どころについて話し合い、共通点や相違点に着目しながら具体を整理し、名所ごとの“いいね！”（見どころ）とキャッチコピーを考えることができる。

学習活動	指導上の留意事項	評価規準（評価方法）
1 前時を想起し、本時のめあてを確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ○前時までの学習を想起させ、海田町の“いいね！”を多くの人に伝えることを意識化させる。 ○国語の学習を想起しながら2つの例を比較させ、ポスターやスライドで伝えたいことを分かりやすく相手に伝えるために、“いいね！”（見どころ）を端的に表すことや、キャッチコピーを付けることが効果的であることに気付かせる。 	

めあて ポスターやスライドで伝える、海田町の名所の“いいね！”ポイントベスト3とキャッチコピーを決めよう。

2 ルーブリックを共有する。

◎	○
<ul style="list-style-type: none"> ・うなずきながら聞く。 ・同じところやちがうところをくらべながら聞く。 ・自分の考えを表す。 ・つけくわえたり、まとめたりして、考えを整理する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・うなずきながら聞く。 ・同じところやちがうところをくらべながら聞く。 ・自分の考えを表す。

3 話し合いの進め方を確かめる。

○国語科で学習した話し合いの進め方を想起させ、ポスター例を参考に、考えを広げる話し合いと考えをまとめる話し合いの進め方を確認する。

4 グループで、ポスターやスライドに書き表したい各名所の“いいね！”ポイントを3つに絞り、キャッチフレーズを考える。

- ・日浦山
- ・旧千葉家住宅
- ・織田幹夫スクエア
- ・ひまわり大橋

○3つに絞る際、プロジェクトの目的や“いいね！”の視点（「美しさ」「便利さ」「人々の努力」「歴史」）を根拠にして話し合うよう助言する。

○名所の“いいね！”を伝えるキャッチコピーが考えにくいグループには、“いいね！”の視点に立ち返り、3つの“いいね！”ポイントの共通点を考えるよう助言する。

【 思・判・表 】
集めた情報を比較し、共通点や相違点に着目ながら、各名所の特徴を整理し、発信したい海田町の“いいね！”を考えている。
(付箋・ワークシート・発言分析)

【例】

- ・千葉家には、きれいな日本風の庭があって、建物の作りも昔の日本の家の造りが分かるものだったね。昔の生活の道具もたくさん残されていたよ。だから、「今にのこる、昔のくらし」っていうのはどうだろう？
- ・ひまわり大橋は、人と自転車しか通れないので安心して通行できたね。それに、ベンチもあってくつろげるし、魚や鳥も見えたよ。「えがおの橋」っていうキャッチフレーズはどうだろう？

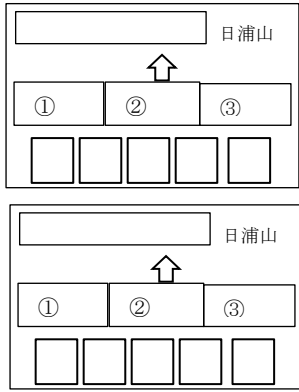
<p>5 全体で意見交流する。</p> <p>6 本時の学習を振り返る。</p>	<p>○他のグループの内容に付け加えるように意見を述べさせることで、内容を深めるようにする。</p>	
<p>ふり返し 班の友達と、海田町の名所の“いいね！”ポイントとキャッチコピーを決められたので、ポスターやスライドを作ることができそうだ。</p>		
<p>7 次時の見通しをもつ。</p>	<p>○次時は、今回決めたことをもとに、ポスターやスライドに使う写真を決めることを伝える。</p>	

6 板書計画

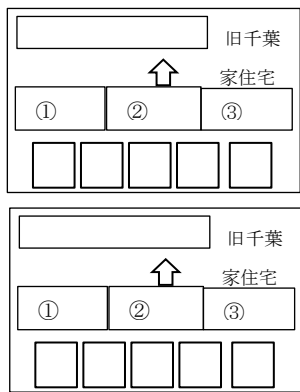
めあて ポスターやスライドで伝える、海田町の名所の“いいね！”ポイントベスト3とキャッチコピーを決めよう。

“いいね！”ポイント ⇔ とくちょう 見どころ おすすめ よさ キャッチコピー ⇒ 相手をひきつける 伝えたいことを短い言葉で

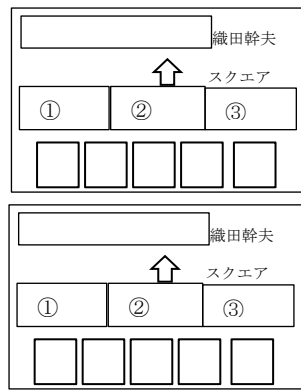
日浦山



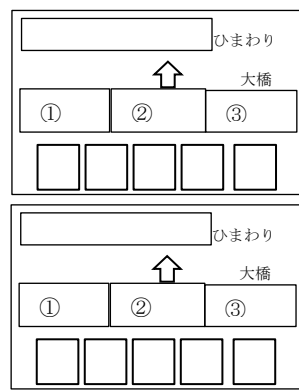
旧千葉家住宅



織田幹夫スクエア



ひまわり大橋



(テレビ画面)

<p>◎</p> <ul style="list-style-type: none"> うなずきながら聞く。 同じところやちがうところをくらべながら聞く。 自分の考えを表す。 つけくわえたり、まとめたりして、話を整理する。 	<p>○</p> <ul style="list-style-type: none"> うなずきながら聞く。 同じところやちがうところをくらべながら聞く。 自分の考えを表す。
---	--

(電子黒板)

(ポスター例1)

(ポスター例2)

(電子黒板)

(各名所の特徴表)